

研究課題名「癒着胎盤症例における総腸骨動脈 balloon occlusion の有効性についての研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2003年1月1日から2016年12月31日までに当院にて癒着胎盤と診断され帝王切開を受けられた方。

2. 研究目的・方法・研究期間

<研究目的>

癒着胎盤は帝王切開時に大量出血の危険性があり、総腸骨動脈 balloon occlusion や大動脈閉塞バルーン、また子宮動脈塞栓術などといった工夫がなされています。当院では2009年より総腸骨動脈 balloon occlusion を施行しており、その方法が有効であるかを検討することがこの研究の目的です。

<研究方法>

2003年1月1日から2016年12月31日までに当院にて癒着胎盤と診断され帝王切開を受けられた患者さんのカルテ情報を使用します。具体的には摘出子宮の病理診断、術中にとられた出血量低減対策、出血量、輸血量を参照させていただきます。集められた情報を解析し、検討させていただきます。

<研究期間>

実施承認日～平成30年6月30日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療経過、手術麻酔記録、病理検査の結果 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院麻酔科 中村のぞみ

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-744-2340

FAX 052-744-2342